

『学報』に出稿・投稿していただくときの表記原則について

法人広報室

1. 文体

口語文体は大別して「です・ます調」と「だ・である（する・した）調」があります。学報には、原則として「です・ます調」で書いて下さい。

筆者の主観を強調する時や、データ等の説明の場合、「だ・である（する・した）調」でも結構です。出稿する内容に即して、どちらが適切かを判断して下さい。

※ただし、ひとつの記事に「です・ます調」と「だ・である調」を混合することは、引用文の転載を除き避けて下さい。

1.1 「です・ます調」が基本となる出稿例

挨拶文・・・就任挨拶、退任挨拶、式典やイベントの挨拶等。

インタビュアー・・・質問、回答ともに「です・ます」で。

行事などの紹介・・・各種授賞式、表彰式、報告会等。

1.2 「だ・である調」「する・した調」の出稿例

主張・強調・・・エッセー文や個人の主張を強調するほか文章に一定のインパクトが必要な場合。

ファクト記述・・・事業計画など文章にメリハリをつける時。

データ関連・・・記録、予算、人事など簡潔な説明文に。

2. 用語

2.1 固有名詞の表記

氏名、組織、施設の名称などは、一つの記事出稿で初出時にフルネームで書いて下さい。

個人名表記の定型はありませんが、初出で所属・姓名・役職（肩書）の順に書いておくと、それ以降の記述は姓と役職（肩書）の表記で構いません。ただし、所属や役職が漢字ばかり並ぶものや、カタカナや平仮名が入って読みにくいものもあります。書かれているのが誰であるのかを自然に特定できる表記であれば結構です。

※ 理事長、学長、病院長などのように複数ページの複数記事に何度も登場する固有名詞の場合は、短い別記事なら初出から姓と役職のみで書いても構いません。

学内の組織名や建物等の施設名称は初出で公式な名前を表記し、通称や略称がすでに一定程度認知されている場合は、初出後にその通称や略称で表記しても構いません。

2.2 学校名の表記（学校名は原則として正式名称を使う）

学校法人大阪医科薬科大学

大阪医科大学（略す場合は、大阪医大）

大阪薬科大学（略す場合は、大阪薬大）

高槻中学校・高等学校（または、「学校法人大阪医科薬科大学 高槻中学校・高等学校」）

2.3 病院名の表記

大阪医科大学病院（初出はフルネームで。略称は大阪医大病院）

（大阪医科大学）三島南病院

（大阪医科大学）健康科学クリニック

（大阪医科大学）訪問看護ステーション

（大阪医科大学）LDセンター

※ 「附属病院」という表記でなければならない場合を除き、学報の記事体裁は原則として「大阪医科大学病院」という表記に統一します。

3. 数字

3.1 洋数字の原則

日時、年齢、金額数量など数字の表記は原則として洋数字を使います。

（例） 25日午後5時ごろ、山田太郎さん（35歳）

3.2 慣用句、成句、専門用語、固有名詞に含まれる数字は漢数字。

（例） 五十歩百歩、四天王、四つ相撲

3.3 数字表記の仕方

縦書き文中では、2ケタまでは1文字で書きます。つまり1ケタは全角、2ケタは半角となります。

(例) 25人、30組、456回、42・195^キ_ロ、12分の1

3.4 1万以上は原則として単位をつけます(位取りの点はつけない)。

(例) 12万3456円、1億2千万人

3.5 年号の表記

原則として和暦を使います。ただし、西暦が適している場合はそれに従います。西暦と和暦を併記する場合は「西暦(和暦)」の形を基本とします。紛らわしくない場合は、西暦の上2ケタを省略しても構いません。

(例) 平成28年4月1日施行、2016年の米大統領選、

1927年(昭和2年)創立

95年の阪神大震災、16年度予算が成立

4. その他の表記

4.1 アルファベット

すべて半角表示、略語は原則として大文字全角とします。

(例) Harvard University

Queen Elizabeth University Hospital

Department of Emergency

Q.O.L.

4.2 メートル法の表記

(例) 1・72^{メートル}、172^{センチ}(メートル)。「1^{メートル}72^{センチ}」などとしません。

6・5^{キログラム}、1・5^{キリットル}

※^キロ^ヤミなどの接頭語が付くものは、接頭語を合成字にします。接頭語に続く単位は合成字にしません。紛らわしくない場合は、^キメートル、^キログラム、^ミリットルなどを省略して表記しても構いません。